

平成30年度教育事業（指導者等養成研修事業）  
「自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成講習」 事業報告書  
事業推進係長 松元 延行

## 1 事業の概要

- (1) 趣 旨 全国体験活動指導者認定委員会自然体験活動部会が定める「自然体験活動指導者養成カリキュラム」の「概論Ⅰ（18時間）」に基づき、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて、適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者（NEALリーダー）を養成する。
- (2) 期 日 平成31年1月16日（水）～1月18日（金） 【2泊3日】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家
- (4) 参加者 28名、その他職員参加3名
- (5) 講 師
- ・スクールカウンセラー（臨床心理士・学校心理士） 赤池直子 氏
  - ・阿蘇ジオパークガイド協会 会長 児玉史郎 氏
  - ・環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所 アクティブレンジャー 藤田幸代 氏
  - ・一般財団法人学びやの里 松井美佑紀 氏
  - ・Waku Waku OFFICE あそBe隊 代表 薄井良文 氏
  - ・国立阿蘇青少年交流の家 次長 北見靖直  
事業推進室長 安部信吾  
企画指導専門職 花田誠（当麻）・山下正晃・尾家義隆
- (6) 担当職員 松元延行（事業推進係長・主任講師） 安部信吾（事業推進室長）  
宇戸口健（事業支援室係員）
- (7) 内 容
- 1日目：「ガイダンス」「青少年における体験活動」「対象者理解」  
「自然体験活動の特質1・2」
- 2日目：「自然体験活動の指導」「自然体験活動の技術」「自然体験活動の安全管理1」
- 3日目：「自然体験活動の安全管理2」「認定試験」

## 2 成果と課題

### (1) 成 果

- 公立青少年教育施設職員が参加しやすいように閑散期（冬季）の平日に実施したことで、多くの青少年教育施設職員に参加していただくことができた。
- 普段、所属団体等で実施している自然体験活動であっても、“学び直し”の必要性を伝え、参加者として体験することで自らの指導に対する再確認・再認識を行う機会となった（参加者の満足度100%）。
- 複数の外部講師に講義を依頼したことで、参加者は様々な内容の講義を聴講することができた。参加者アンケートからも有意義な研修だったとの感想が多く寄せられた。
- 外部講師だけでなく、当交流の家の企画指導専門職等も講師を務めるとともに、職員も参加者に加わったことで当施設職員の自然体験活動指導者としての力量を高める機会となった。

### (2) 課 題

- 冬季に開催したため野外調理を含め実施できる自然体験活動に限られ、実施直前まで調整が必要であった。企画時期からどのようなプログラムを実施するべきか早期に検討する必要がある。
- 公立青少年教育施設職員にとっては施設の繁忙期・閑散期は同じ時期である。上位資格取得のための演習実施には多くの時間と労力を有するため、早めに演習連絡を案内し上位資格取得希望者に対する支援を手厚く行う必要がある。

### 3 事業の様子



【対象者理解（赤池氏）】



【自然体験活動の特質（児玉氏）】



【自然体験活動の特質（藤田氏）】



【自然体験活動の特質（松井氏）】



【自然体験活動の技術（火おこし）】



【自然体験活動の技術（オリエンテーリング）】



【自然体験活動の技術（テント設営）】



【自然体験活動の技術（野外風呂）】



【自然体験活動の安全管理（薄井氏）】



【集合写真】